

2019年7月30日（火）～8月3日（土） 北アルプス 表銀座を歩く

堀(記)

8月1日(木) 晴

今日は燕山荘～大天井岳（2922m）～喜作新道～赤岩岳（2769m）～ヒュッテ西岳（泊）いわゆる北アルプス表銀座コースの尾根歩きだ。燕山荘から大天井岳までは、2002年に熊本さん、鶴飼さんと歩いている。大天井岳から先は、前回は常念岳に向かったので私（堀）としては初めてのルートである。



am5:30 出発予定だったが、しかし、3 時前から周囲がざわざわし始め結局 4:00 には起きてしまった。尾根筋で雷雨に会うのは避けたいので、多少早めに出発ならその方が良い。4:30 朝食。かいがいしく？食事の支度をする吉松さん。

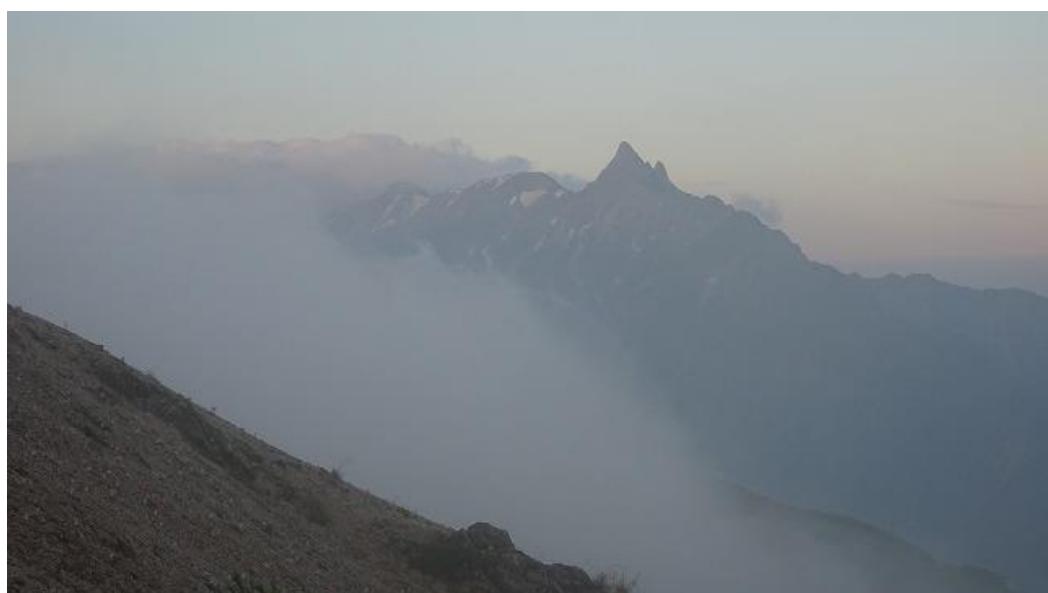


出発前、小屋の外でご来光を待つ人々。ガスが掛かっているので、果たして大きな太陽が見られるか？



我々は（残念ながら池戸さんはいないけど）、出発写真を撮って5時過ぎに小屋を出発！

したにはしたのだが…

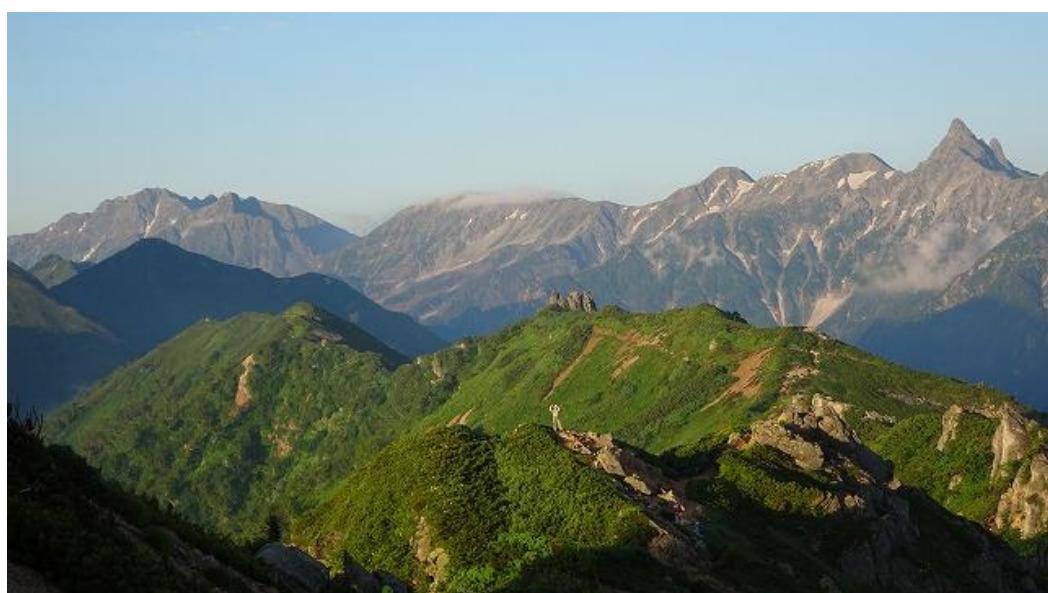


昨日はほとんど見ることが出来なかった槍ヶ岳、今日はよさそうだ。

10分ほど歩いたところで、
「堀さん、ストックは？」
と吉松さん

「やべー、全く気が付かなかつた」

往復30分のタイムロスだ。
早く出たのにそれと同じ時間失った。



空はすっかり明るくなり、
山々も色を取り戻してい
る。

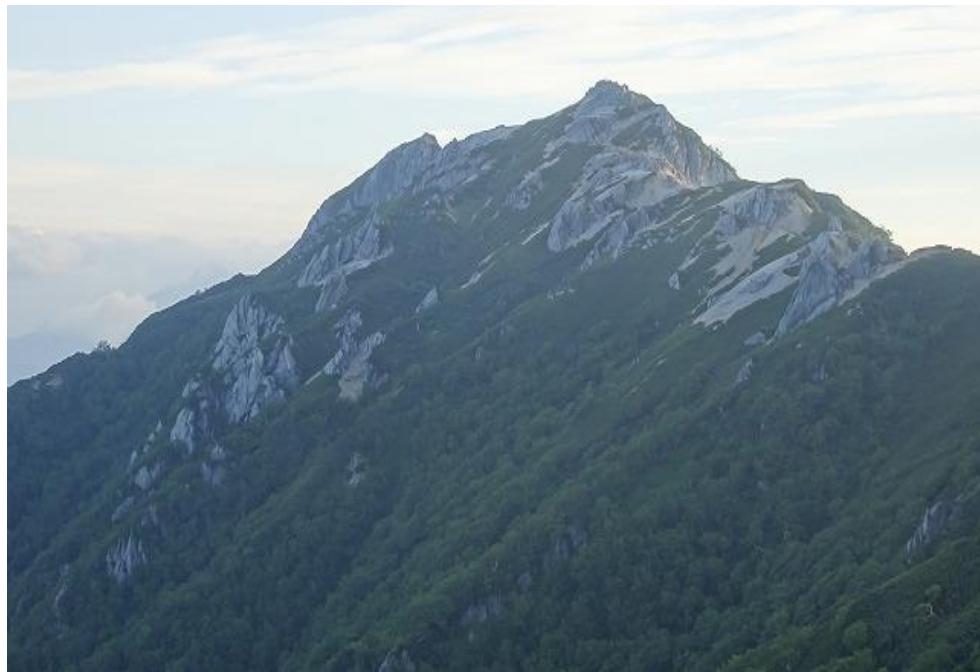


昨日の燕岳は、少しザレたところでは、コマクサが非常に多かったが、大天井岳への尾根筋もコマクサだけといつても過言でない。

飽きてしまうくらいで、コマクサというより、“コマグゾ”

何とも贅沢！

大天井への尾根筋は岩場が多い。





大天井岳をまいて大天井ヒュッテへ（槍ヶ岳方向）の道（喜作新道）と大天井を通って常念岳方向への分岐。我々は常念岳方向へ進む。

この辺りに喜作レリーフがあることになっているが、分からなまま通り過ぎてしまった。

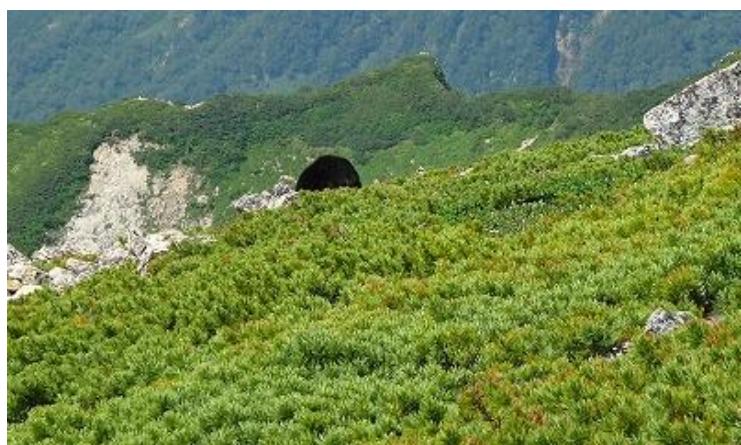
下の写真は、槍ヶ岳方向。大天井を経由してこの尾根を進むことになる。



9:05 大天莊着。一休みしてから、ここにザックを置いて、空身で大天井岳へ。片道 10 分程度。

クマが出たア！

大天井岳の山頂に向かう間もなく、先行の登山者が小声で進行を制している。“首輪をした熊がいる”と聞こえる。首輪をした熊が繋がれているのかな？



左の黒いのがクマです。すぐ近くにいます。首輪と頭の上に弁当箱のようなたぶん発信機でしょうか？しばらく様子

を見ているとユックリ谷を降りていきました。こんな近くで熊に出くわしたのは初めてです。



9:30 予定よりやや遅れて大天井岳に登頂。槍をバックに登頂写真。 (あんなとこまで歩くのかア)



喜作新道から東
鎌尾根に続く表
銀座のルートが
見下ろせる。

まずは大天井ヒ
ュッテで昼飯
だ！昨日電話で
確認したところ
では、昼食は
10:00～14:00 ま
でだそうだ。

少しでも荷物は
減らしたいので、
昼食も途中の小
屋で調達出来れ
ば有り難い。

大天井ヒュッテは大天井岳からかなり（40分ほど）下った鞍部にある。



11:00頃大天井ヒュッテについて昼食を注文。レトルトカレーだけど、それも我々の後は品切れ！あとはラーメンくらいだ。



ヒュッテを出たところに牛首展望台への登り道がある。ほんの10分程度のところだが、まあいいかということで、ここはバス！



ヒュッテから先は喜作新道の尾根道です。
しかし、群落はすべてコマクサと言ってもいい大天井岳までの岩場とは違い、お花畠がそこ、ここに見られる。
コバイケイソウ、ニッコウキスゲ、ハクサンイチゲなどなど





先に見えるのは西岳だろうか。



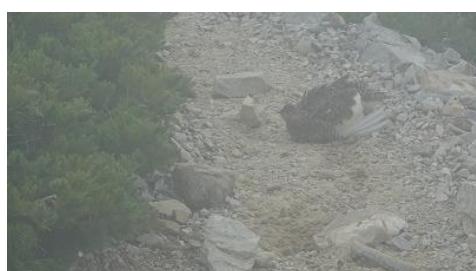
ヒュッテから小一時間、ビックリ平に至る。ヒュッテ西岳まで 2 時間半とある。何がビックリなのかな？（不明）



更に一時間（13:20）、赤岩岳山頂。
(熊本さんの合成の技！)



高山植物はいろいろ見ることが出来たが、「動物はクマだけだね」「ライチョウちゃん、ライチョウちゃん」などと言っていると、いるじゃあないですか！それも登山道で砂浴びをしています。驚かさないようにしばし立ち止まって観察です。去っていく様子が無いので、そっと傍を通り過ぎました。

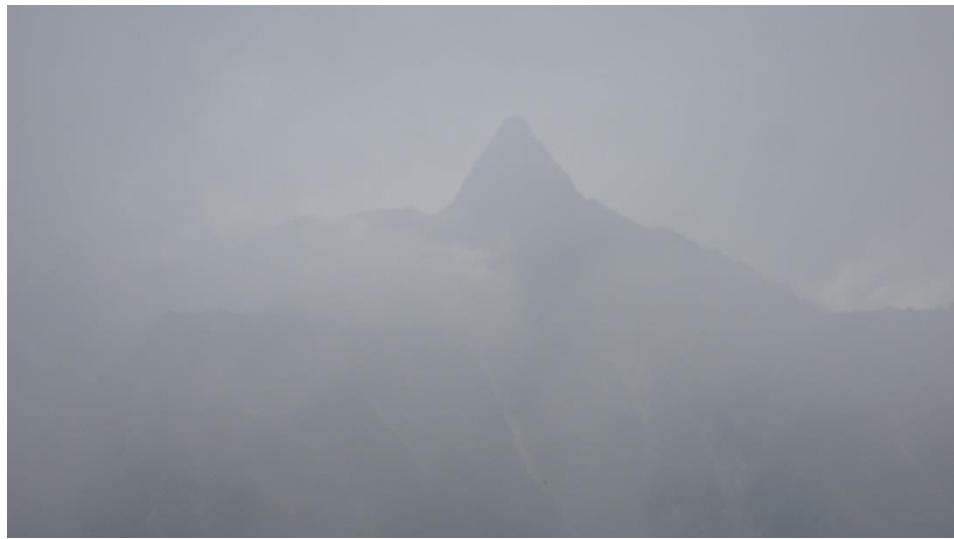




14:30 近くヒュッテ西岳が見えた。
計画ではヒュッテから空身で西岳
山頂を往復する予定だが、パスする
ことに決定。
ここは、それよりビールだよ！



西岳ヒュッテには談話室など無い。
さっそく縁台で乾杯！



槍ヶ岳はだいぶ大きく見えてきた。
日没にはまだ間があるが、周囲の山
はガスと雲が立ち込めてくる。
今日も一雨来るのかな。



宿泊者はあまり多くなく、一コマに我々とあと一人で、ゆったりだった。

夕飯、骨抜きの鰯の煮付、骨抜きの魚なんて初めて。（写真は撮り忘れた）ヘリで運んでいるんだな。“山小屋で海の魚”じゃなくてもいいのにな。

食事がすんだらすぐに就寝。6時にもなっていなかった。談話室も無いので、することも無い。

明日はいよいよ鎌尾根から槍ヶ岳だ。